

|            |       |      |
|------------|-------|------|
| ホームページへの掲載 |       |      |
| 済          | 3月15日 | 掲載予定 |

## 岐 阜 県 立 可 児 工 業 高 等 学 校

学 校 長 豊 吉 守

学 校 住 所 可 児 市 中 恵 土 2358 の 1 電 話 0574-62-1185

**1 会議の名称** 可児工業高等学校学校評議員会 (第3回)

**2 会議の構成**

|       |       |                   |
|-------|-------|-------------------|
| 委 員   | 安達 邦満 | 可児市中恵土自治会連合会長     |
|       | 小栗 公子 | (有)小栗モータース取締役(欠席) |
|       | 相生 順子 | 可児市青少年育成アドバイザー    |
|       | 玉田 吉孝 | リンナイ精機株式会社専務取締役   |
|       | 長谷川 保 | 可児市下恵土公民館館長       |
|       |       | (委員名は五十音順)        |
| 学 校 側 | 豊吉 守  | 校長                |
|       | 高木 良昭 | 教頭                |
|       | 福井 学  | 事務長               |
|       | 大山 好武 | 教諭(工業部長)          |
|       | 鈴木 宏  | 教諭(進路指導部長)        |
|       | 兼松 竹司 | 教諭(生徒指導部長)        |

**3 会議の目的** 学校が保護者や地域住民の信頼と期待に応えるためには、地域に開かれた学校づくりの推進が重要である。学校は家庭や地域にその運営方針を明らかにし、その理解と協力を得るとともに、学校外の有識者等の参加を得て、学校運営に対する幅広い意見を集約し、本校教育の一層の改善・充実を目指す。

**4 会議の開催** 平成22年2月24日(木) 10:00~11:30 可児工業高等学校校長室  
評議員4人と学校側6人が出席  
会の内容  
・平成21年度の報告  
・本校職員に望むこと  
・来年度への提言  
・1年間の評議員を振り返って  
・次年度の評議員の推薦

### 5 会議の概要

#### (1) 平成21年度の報告

- ①平成21年度の進路状況について資料をもとに説明した。  
・就職率が実質100%であったこと、国立大学に3名が合格したことについては高い評価を得た。
- ②平成21年度の生徒指導関係について説明した。

意見 1 昨年度より遅刻数が増えているが、その原因は何か。

回答 今年度はインフルエンザの影響で、体調が悪い場合は家庭で様子を見てから登校するように指導した。そのため遅刻の絶対数は増えている。

③平成21年度の成果や実績について  
以下のような主な活動について説明した。

**地域連携**

- ・地区懇談会（6月～7月）
- ・地区公民館でのサイエンスカフェ（7月）
- ・可児市産業フェア（11月）への参加
- ・花フェスタ春祭りへの参加（1月）
- ・可児川一斉清掃参加（2月）

**高大連携**

- ・たくみアカデミーとの連携の調印（12月）
- ・連携に伴いたくみアカデミーで技能講習会を実施（12月）

**工業部関係**

- ・ものづくりコンテスト東海大会出場（6月）
- ・ものづくりコンテスト県大会（11月）  
化学分析部門、測量部門、木材加工部門、電子回路組立部門で東海大会出場
- ・ソーラーカーレース鈴鹿大会出場
- ・ジャパンマイコンカーレース  
全国大会（札幌）で1、2位独占

**部活関係**

- ・NHKアナウンスコンテスト全国大会出場
- ・ホッケー部全国選抜大会出場決定

**その他**

- ・本校卒業生が技能オリンピックで金メダル獲得
- ・裁判员裁判の広報のため、本校で模擬裁判の授業が行われた。（11月）

④ジャパンマイコンカーラリーの優勝報告

生徒により、レースの様子をビデオで紹介し、各評議員から質問を受けた。

意見 2 可児工業高校が地域のイベントに参加していただき、イベントも盛り上がり、感謝している。参加している生徒も礼儀正しい。今後も多くのイベントに参加していただきたい。

回答 地域の行事やイベントに参加することで、生徒の社会性の向上、コミュニケーション能力の向上に効果があり、学校のPRにもなるので、できる限り参加したいと。学校の行事の関係もあるので、全てに対応できないかも知れない。

意見 3 可児工業高校がこのように活躍したことが新聞で報道され、卒業生としてとても誇りに思い、うれしい気持ちだ。  
先日は課題研究発表会も見させてもらったが、校長先生が言われた「問題解決能力」の向上といった面では、まさにその成果が表れていたと思う。これからも次の場所でさらに力を伸ばしてください。

## (2) 本校への意見や提言

に地域のイベントに参加していただき、イベントも盛り上がり、感謝

特に具体的なテーマは示さず、今年度の本校の教育活動全般について、それぞれの評議員からご意見やご感想を聞き、質問や提言については、各担当あるいは管理職から回答した。

意見 4 課題研究発表会に参加したが、高校生の力を感じた。あのように活躍している生徒はもちろん素晴らしいが、活躍する生徒だけでなく、そうでない生徒にも良いところを見つけ、光を当ててほしい。

回答 そのことについては日頃から気をつけている。本校では比較的少人数の授業も多いので、そんな時を利用して、ご指摘のことには気を配りたい。

意見 5 授業や実習を何回か見学させていただいたが、毎回同じようなところだった。授業の関係でそうなるのもやむを得ないが、違った授業も見てみたかった。

回答 年3回で曜日も決まってくるので、今後は様々な場面での生徒の姿を見ていただくようにしたい。

意見 6 本校の生徒は地域の行事、例えば体験広場などでは小中生にうまく対応しているように思う。技術を身につけているので、それをうまく活かしているようだ。学校がよく指導していると感じた。

回答 まだまだ不十分であるので、さらに良い評価がいただけるよう指導をしていきたい。

意見 7 基本的な生活習慣、コミュニケーション能力の向上に力を入れていただいている、心強い。我が社の若い社員も実際の会話よりメールが主で、直接言えばいいことでもメールを使うような場面が見られる。

コミュニケーションがうまくとれれば可愛がってもらえる。「ありがとうございます」だけで評価がまったく変わる。こういったことは高校時代に培ってほしい。

課題研究発表会の内容はすばらしかった。ものづくりの魂が生きていると感じた。

回答 コミュニケーション能力の向上は本校でも大きなテーマとして考えている。学校内のあらゆる場面でこのことを意識した指導を今後とも行っていきたい。

## 6 会議のまとめ

① 今回は1年間の振り返る良い機会になった。おおむねお褒めの言葉を多くいただけたが、その中にも来年度の方向性を示唆するようなご意見もあり、有意義なものになった。

② 地元の町内会の方は校外における生徒の行動を良くご覧になっている。この地域の目は優しくも厳しい。地域で愛されるためには、付け焼き刃ではなく、地道な実践が必要であると感じた。

③ 「ひとつづくり」の面でも貴重なご意見をいただいた。今後の進路指導や生徒指導に役立てていきたい。